

消防ヒヤリハットデータベース事例情報シート

【事例概要について】

| | |
|-----------------|-----------------------------|
| 1. 事故・ヒヤリハットの別 | ヒヤリ |
| 2. 体験した事例の名称 | 緊急走行中、倒木に遭遇した事例 |
| 3. 体験した事例の中心的要素 | 救急現場に向かうため、林道を走行中目前に木が倒れてきた |
| 4. 体験した事例の原因・理由 | 枯れた雑木が風雨により倒された |

【体験した事例の直接的原因について】

| | |
|------------------|-----------------|
| 1. 体験した事例の直接的な原因 | 行動の意志決定に問題があった。 |
|------------------|-----------------|

【体験した事例について】

| | |
|----------------------------------|--------------------------|
| 1. 発生日時 | 平成 20 年 5 月 24 日 午後 5 時頃 |
| 2. 発生した当時の天候 | 雨 |
| 3. 発生した活動現場 | 屋外：山間部の狭隘な林道 |
| 4. 体験した事例の種類 | 回答者が、自分自身で負傷した。 |
| 5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度） | 重傷の怪我をしていた（させていた）だろう。 |
| 6. どのようなことが起きたのか (起きそうになったのか) | 飛来・落下ぶつにぶつかる |
| 7. 事例体験時の活動 | 救急、出動途上 [] |
| 8. (7の活動中) どのような作業中に発生したか | その他：救急現場へ向かう途中 |
| 9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。 | これまでに 1, 2 回程度体験している。 |

10. 事例体験者の属性（回答者は当事者A）

| | |
|------------------------|---|
| ○当事者 A | 年齢[25]歳、 勤続年数[7]年、 現場経験年数[7] 年、 階級[消防士]、 同様の活動 [頻繁]、 任務 [機関員] |
| ○当事者 B | 年齢[41]歳、 勤続年数[24]年、 現場経験年数[24]年、 階級[消防司令補]、 同様の活動 [1 年に数度]、 任務 [車長] |
| ○当事者 C | 年齢[23]歳、 勤続年数[5]年、 現場経験年数[5]年、 階級[消防士]、 同様の活動 [頻繁]、 任務 [] |
| その他 (当事者が 4 人以上の場合) | |

11. 事例発生の経過。

| | 誰(何)が | なにをした | その他・備考など |
|-------|-------|-----------|----------|
| 経過 1 | A | ブレーキをかけた | 倒木を回避 |
| 経過 2 | B | 倒木及び車両の確認 | |
| 経過 3 | | | |
| 経過 4 | | | |
| 経過 5 | | | |
| 経過 6 | | | |
| 経過 7 | | | |
| 経過 8 | | | |
| 経過 9 | | | |
| 経過 10 | | | |

【その事例発生時の状況について】

A horizontal line consisting of 20 solid black circular dots, evenly spaced from left to right.

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか?

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できた。集中力、注意力があった。避難・退避がうまくいった。たまたま、事故にならなかつた。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

- ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。
 - ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。
 - ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。

b 注意力が欠如していた

- 注意力が欠けました

 - ・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。
 - ・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。
 - ・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。

c. 経験・知識が不足していた。

| | |
|----------------------------|-----|
| ・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。 | いいえ |
| ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | はい |
| ・活動に対する経験が不足していた。 | はい |

d. 心身の不調があった。

| | |
|-----------|-----|
| ・体調が悪かった。 | いいえ |
| ・悩み事があった。 | いいえ |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

| | |
|---------------------|-----|
| ・装備・資機材自体に問題があった。 | いいえ |
| ・装備・資機材の使用方法が誤っていた。 | いいえ |
| ・装備・資機材の対処能力を超えていた。 | いいえ |
| ・必要とする装備・資機材がなかった。 | いいえ |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

| | |
|---------------------------------|----|
| ・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。 | はい |
| ・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。 | はい |

g. 行動しにくい環境だった。

| | |
|------------------|-----|
| ・狭隘な場所であった。 | はい |
| ・暑かった（寒かった）。 | いいえ |
| ・野次馬が多かった。 | いいえ |
| ・現場周辺の地理に不案内だった。 | はい |

h. 足場が悪かった。

| | |
|-------------------|-----|
| ・足元が躊躇したり滑りやすかった。 | いいえ |
| ・足元の強度が不足していた。 | いいえ |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかつた（適切な指示を与えられなかつた）。

| | |
|-------------------------------------|-----|
| ・活動指示が得られなかつた。（無線が通じない等。） | いいえ |
| ・指示内容に誤り・偏りがあった。 | いいえ |
| ・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。） | いいえ |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

| | |
|----------------|-----|
| ・隊員の連携が不十分だった。 | いいえ |
| ・隊員が不足していた。 | いいえ |

○その他

l. その他の理由があつた。

| |
|--|
| |
|--|

【事故発生後の取り組みについて】

.....

○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

